下馬地区

地域カルテ

多賀城創建記念

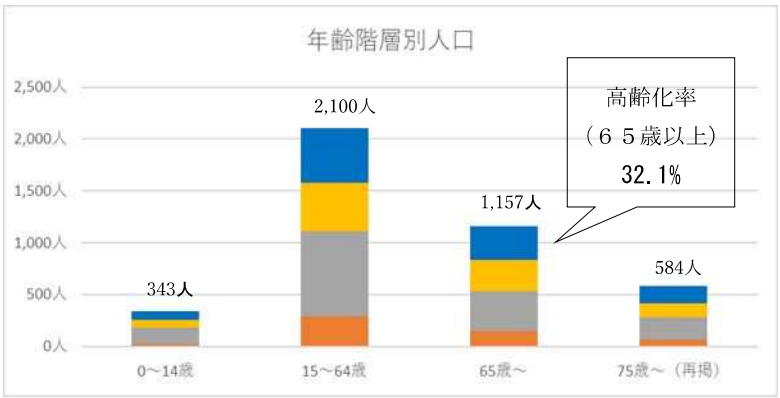
TAGAJO 1300th Anniversary

724▸2024

下馬地区

下馬という地名の由来は、塩釜神社が近いことから参詣する者は、ここで馬から下りて塩釜膳部に入ったので、この名ができたと言われたり、下馬はもともと急な坂であったため、馬から下りなければ通れなかったのでこの名がついたのだろうと言われています。
江戸時代には仙台藩家臣 芦立氏の在郷屋敷があり、除は免租地である除屋敷のこと、的場は芦立氏の鉄砲や弓の的場が置かれた場所と言われています。
現在では南北にJR仙石線が通り、JR仙石線下馬駅があります。
またこれと並行して国道45号線が通っている地域です。

【参考：多賀城町史を参照】
【参考：令和元年度資料展 地域の文化財を参照】
【参考：多賀城市景観計画（平成27年4月）を参照】



	0～14歳	15～64歳	65歳～	75歳～（再掲）	高齢化率（65歳以上）	合計
下馬東地区	80人	521人	324人	169人	35.0%	**925人**
下馬西地区	77人	471人	297人	134人	35.1%	**845人**
下馬南地区	161人	814人	387人	211人	28.4%	**1,362人**
下馬北地区	25人	294人	149人	70人	31.8%	**468人**
下馬地区合計	**343人**	**2,100人**	**1,157人**	**584人**	**32.1%**	**3,600人**

（令和６年５月１日現在）

【下馬地区の強み】

～下馬地区共通の強み～

下馬地区は海から離れているため**津波被害**や、丘陵地区でもあるので降雨による**水害**を**受けにくい**地区である。

下馬東

町内会行事は**多彩**であり、みんなの力で協力して続けている。

町内会**役員全員**が**ひとつの方向を向いており、結束力がある。**

役員は**男女半々**くらいで構成され、**若返ってきている。**

下馬西

JR仙石線下馬駅・JR東北本線塩釜駅が近く、国道45号線も近隣にあるため**交通の便が良い。**

大型スーパーマーケットが近隣にあるので、**買い物が便利。**

救急病院が近くにあり、安心して生活が出来る。

下馬南

JR仙石線下馬駅が近くにあり**便利**である。

病院、歯科医院が**充実**していること。

下馬北

JR仙石線下馬駅やJR東北本線塩釜駅、国道45号線が近く**交通の便が良い。**

昔ながらの商店が数件しかないが、電気店などひいきにしている**高齢者**にとっては、**ありがたい店**となっている。

子供が減少しているため、**大人中心の行事**をメインに行っている。

【下馬地区の気になるところ】

下馬東

地区内に**台山公園しかなく、子供の遊び場が少ない。**

台山公園は小さな公園ながらも、工夫して夏祭りなど行ってきたが、**大勢が集まる**催しは**難しい。**

下馬西

若年層の地域（町内会・自治会）への関心度の低下が見られること。

下馬南

高齢者の免許返納が多いなか、市の催しが文化センターやSTEPでの開催が多い。行くにも**交通費が発生するため交通に不便を感じる。**

下馬北

下馬地区内の商店が減っており、特に**高齢者は買い物**のため**電車に乗っていく**人もいる。地区内に**コミュニティバスの路線がなく不便**がある。

道路が狭く、収集車が入らない地区は、国道沿いの集積所を使用している。小さい収集車があると良い。

～下馬地区共通の気になるところ～

最近は下馬地区の近いところにある多賀城市総合体育館の他に、さんみらい多賀城イベント（STEP）での催しも多くなり、特に運転免許を返納した高齢者にとっては**移動手段**に**不便**を感じる方が多い状況となっている。

【下馬地区の自慢の行事やイベント】

下馬東

『夏祭り』

下馬東集会所の室内で初めて夏祭りをしました。狭さや暑さなどの問題はありましたが、みんなで体操したり踊ったりと楽しい夏祭りでした。

夏祭りの様子

『趣味の作品展』

地域の方が制作した作品を集会所で展示する催しです。今年（令和6年）で10回目の開催となります。

趣味の作品展の様子

下馬西

『夏まつり』と『運動会』

夏まつりでは子供ゲーム大会を行っています。
運動会はすべての演目に賞品を設けながら、地域住民相互の親睦を図っています。
運動会の後の芋煮会も毎年しています。
住民にとって、楽しみな行事になっています。

運動会の様子

いも煮会の様子

【下馬地区の自慢の行事やイベント】

下馬南

『夏祭り』

夏祭りの手伝いとしてボランティアを募集したところ、中学生も手伝ってくれました。
また、地区には婦人会がありません。
そのため、下馬サロン（多賀モリ会）の方たちに協力を依頼すると夏祭りや敬老会、防災訓練の時などに多くの手伝いを出してくれるため、本当にありがたいです。

防災訓練前の炊き出し準備

敬老会の準備

下馬サロンの方々のお手伝いの様子

下馬北

『抽選会』とゲーム大会

令和5年は夏祭りではなく、抽選会を行いました。景品は夏祭りに掛かる費用分を充てました。約70人の参加があり、大変好評でした。
令和6年は大人も出来るゲーム大会を行いました。

【下馬地区の支え合い・助け合い活動】

下馬東

ひとり暮らし訪問活動の様子

・75歳以上のひとり暮らし高齢者で訪問を希望した方に対し、下馬東自治会の役員と住民ボランティアが一緒に見守りの訪問活動を年2回行っています。
活動を繰り返すことで顔見知りになり、気軽に声掛けしやすくなりました。訪問される方も楽しみに待っているとのことです。気になるようなことがあった場合は、東部包括支援センターに連絡し連携をしています。

下馬西

・残念ながら、地区内での見守り活動や助け合い支え合い活動などは、特に行っていません。

下馬南

・下馬南自治会では災害時の安否確認が速やかに出来るように、偶数月の第3日曜日に黄色い旗を掲げます。
黄色い旗を掲げることで、隣の家は大丈夫であるか、気に掛ける意識を持つような働き掛けをしながら地区防災に取り組んでいます。

黄色い旗を掲げている様子

【下馬地区の支え合い・助け合い活動】

下馬北

・下馬北地区では、町内のパトロールを下馬地区防犯協会が行っています。会員は下馬4地区の住民で構成されています。
下馬北地区では班長へ市広報を引き渡す際にパトロールを行っています。

【下馬地区の自主防災組織の活動状況】

下馬東	・線状降水帯のような大雨が降ると、坂が多い地区なので坂道での水の流れや、低いところでは雨が集まるので不安があります。 ・災害時の安全確保や安否確認が速やかに出来るように、集会所内の備品の確認や、全世帯に黄色い旗を配付し掲げてもらう取り組みをしており、定着してきています。 確認対応は班長の役割としているため、つながりを大事にしています。
下馬西	・下馬西地区では災害が発生した後の共助体制に重点を置いており、避難場所への一次避難訓練や防災倉庫内の確認をしています。
下馬南	・防災訓練後に炊き出し訓練を行っています。炊き出しには下馬サロン（多賀モリ会）の方々に協力を頂いています。 小学校の保護者の方の協力があります。
下馬北	・大雨等による冠水の被害は少ないと思っていますが、下馬北地区内には、急傾斜地崩壊危険区域に指定されている場所があるため、地震や大雨によって崖が崩れる恐れがあります。しかしながら、住民の防災に対する意識は低いです。 防災訓練の際も住民が集まらないので、役員のみで防災倉庫内の備品を確認している状況です。 住民にはシェイクアウト訓練や家族内での連絡方法の確立をチラシで呼び掛けています。

【避難行動要支援者名簿の活用状況】

下馬東	・ひとり暮らし高齢者の見守り活動の名簿を作成する際に、避難行動要支援者名簿を参考にしました。
下馬西	・残念ながら、避難行動要支援者名簿は活用していません。
下馬南	・避難行動要支援者名簿については、情報の共有はしていません。
下馬北	・避難行動要支援者名簿の内容は町内会長も把握していますので、声掛けしたりしますが、負担感を考えると役員等に開示することは出来ないと考えています。

【下馬地区での協力体制や連携状況】

下馬東

(1) 町内会長、町内会役員、班長、民生委員などの連携状況

・民生委員は町内会役員に位置づけしています。

・市の広報を仕分した後に全役員で役員会を実施しています。会長から1ヶ月間の状況を報告して情報の共有を行っています。

・役員には担当する地区を割り振っています。市の広報を引き渡す際は、班の問題や課題を吸い上げるようにしています

(2) 若い世代への働きかけの工夫や参加状況等

・天真小学校のPTA地区役員と接点を持つことが出来たので、夏祭りでのゲームの企画や運営など積極的にしてもらいました。敬老の日には、小学生から感謝の手紙を書いてもらい記念品と一緒にお渡ししました。
こういったことから、はじめから「ダメなんじゃないか。」と思わずに積極的に働き掛けをしていこうと思っています。

下馬西

(1) 町内会長、町内会役員、班長、民生委員などの連携状況

・毎月1回定例役員会を開催しています。その他、イベントごとに町内会役員、班長、地区団体役員による運営委員会を構成することにしています。
なお、民生委員は町内会役員に位置づけしておりません。

(2) 若い世代への働きかけの工夫や参加状況等

・イベント等の参加は相当数ありますが、町内会役員を引き受けていくことには関心がないようです。

【下馬地区での協力体制や連携状況】

下馬南

(1) 町内会長、町内会役員、班長、民生委員などの連携状況

・民生委員は町内会役員に位置づけされていませんが、役員会には出席しています。

(2) 若い世代への働きかけの工夫や参加状況等

・防災訓練での炊き出しでは、小学生の引き取り訓練に参加する保護者にお手伝いをお願いしました。引き取り前に集まってくれて、炊き出しに使う食材を切ってくれたり、配膳など手伝ってもらました。とてもありがたく思っています。

下馬北

(1) 町内会長、町内会役員、班長、民生委員などの連携状況

・町内会の役員、班長、民生委員などの連携は出来ています。
民生委員は役員として位置付けておりますが、民生委員の活動に専念してもらうため、町内会行事に関する話し合いは、あまり入ってもらわないようにしています。しかし何かあった際は連絡をしています。

(2) 若い世代への働きかけの工夫や参加状況等

・以前に地区役員の公募を行いましたが、残念ながら効果はありませんでした。

下馬地区　トピックス

鎌倉神社

鎌倉神社大祭の子ども神輿の様子

鎌倉神社は下馬1丁目に所在する神社です。住宅地の中で、ひときわ鮮やかな赤い社は、もとは仙台藩の家臣、芦立氏の氏神であったと伝わっています。祭神は、平安時代末期、源義家に従って戦功を挙げた鎌倉権五郎景政とされていますが、芦立氏が鎌倉権五郎を祭神とした経緯については明らかではありません。明治百年を記念し、明治44年に本殿を流造りに、拝殿を入母屋造りに改修され、本社である鎌倉市の御霊神社（権五郎神社）より新たに神霊が迎えられています。

現在の社殿は道路に面して鎮座していますが、改修以前は現在地よりやや北側の奥まった場所にあり、木立に囲まれて立つ茅葺屋根の質素な社の写真が、昭和42年発行の『多賀城町誌』に掲載されています。

芦立氏は、江戸時代に下馬村に在豪屋敷を賜り、「宮城郡屋敷帳」という記録には、その敷地は60間四方（約3600坪）と記載されています。鎌倉神社の境内か小字が「除」であり、江戸時代には在郷屋敷など諸役が免除された土地の名残りと見られることから、現在の社地一帯は、芦立氏の屋敷地の一部であり、この氏神は屋敷の一角に祀られていたと考えられます。

江戸時代が終わり、芦立氏が領主としての立場を失ってからも、その氏神は古くから下馬に住んでいた方々によって守られ、祭祀が行われてきました。昭和44年の改修の翌年、下馬全地区の自治会に維持管理が委嘱されることになり、芦立氏の氏神は、鎌倉神社として下馬地区で初めての鎮守の神様になりました。鎌倉神社は、現在でも下馬地区の人々によって祭事が執り行われていますが、社主は芦立氏であり、この神社がかつてはその氏神であったという歴史を伝えています。

【引用：歴史の風　神社編】

『鎌倉神社の大祭』

3年に一度行われるお祭りで、子ども神輿は、コロナ禍や雨天のため、今年（令和6年）は、実に9年ぶりの実施でした。当日はあいにくの小雨により、鎌倉公園の周辺だけの渡御となりました。

笠神地区
地域カルテ

多賀城創建記念
TAGAJO 1300th Anniversary
724▸2024

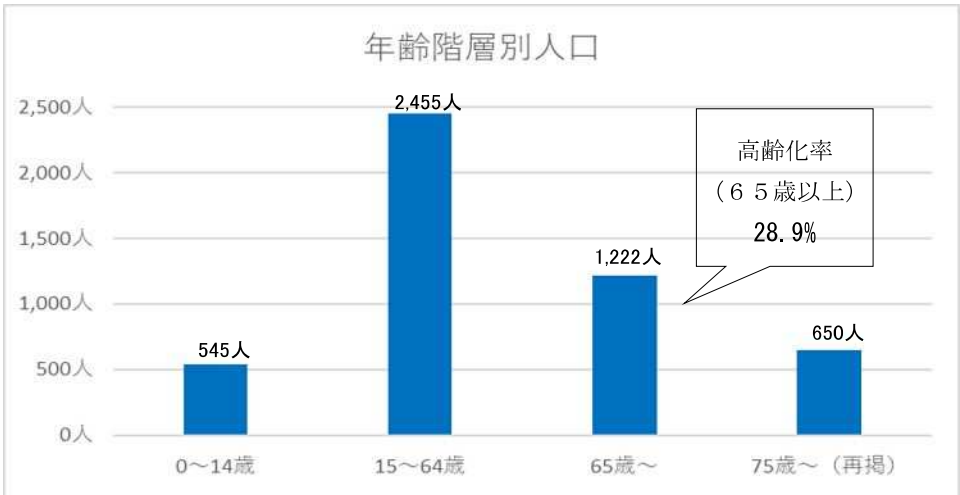
笠神地区

昭和18年に多賀城海軍工廠が開庁し、笠神は焼夷爆弾や照明弾などの信号爆弾を製造する火口部が置かれました。その建設に伴い、用地内の家屋や寺社仏閣、墓地までも移動させる大規模な集落移転が行われた歴史があります。
今もなお、地区には道路によって整然と区画された旧多賀城海軍工廠が、戦時下と変わらない姿で残っています。

【参考：令和元年度資料展 地域の文化財を参照】

仁和多利神社

笠神地区は行政区としては笠神東・笠神西に分かれていますが、笠神自治会は東西合同で構成されています。



	0～14歳	15～64歳	65歳～	75歳～（再掲）	高齢化率（65歳以上）	合計
笠神地区	545人	2,455人	1,222人	650人	28.9%	**4,222人**

（令和６年５月１日現在）

【笠神地区の強みと気になるところ】

【笠神地区の強み】

自慢じゃ！

笠神自治会は**笠神東**と**笠神西**が**一体となって事業**を行っているところ

笠神地区の東西に**笠神会館**や**笠神分館があるの**で、住んでいる人にとって集まりやすい

向こう三軒両隣の考え方が根強く、**お互い様の気持ち**で住民同士がつながっている

高台にある**地域**なので、**地震**や**津波**の影響が**少なく**、**災害**に**強い**地区である

笠神地区には**素直な子供達が多い**

20年以上続く健康体操の様子と参加者の方々（笠神会館）

仁和多利神社例大祭
（笠神分館となり神社構内）

気になるわ・・・

【笠神地区の気になるところ】

育成会が**休止**していること

町内会に**加入しなくても不自由を感じておらず**、町内会へ**加入しない世帯**や**退会する世帯**が**増えている**こと

高齢化が**進んで**おり、**空き家**が**多くなってきている**こと

子供達が**歩いて行ける範囲**での**店が少なくなった**。高齢者にとっても**買い物**が**大変**で**不便**を感じている

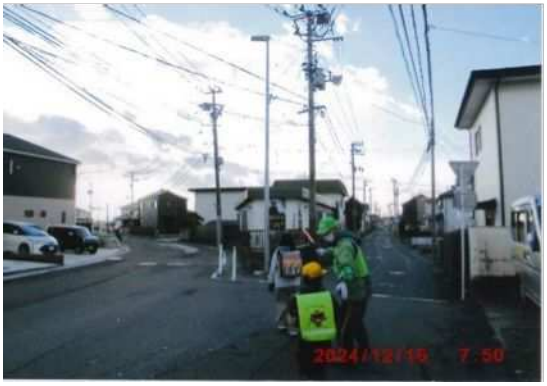
【笠神地区の自慢の行事やイベント】

・**夏祭り**は**子供の参加**が**とても多く**、**親達も参加**していました。**若い人達**も**参加が出来るイベントを待っていた**ように思います。
　また、育成会は休止しているものの、**有志の親達**が**積極的**に輪投げや水ヨーヨー、かき氷の**ブースを運営**してくれました。

笠神夏まつりの様子

・**グランドゴルフ大会**では、**小学生から大人まで参加**しています。世代を越えて話しをしているので、**世代間交流の場**になっています。

【笠神地区の支え合い・助け合い活動】



交通安全活動と防災訓練の様子

・笠神地区では**子供達の交通安全**のため、**笠神自治会**及び**民生委員**が**声掛け活動**をしています。小学生や中学生が朝から挨拶をしてくれるため、朝から気持ちが良いです。子供達に限らず大人達とも挨拶を交わすので、**顔見知り**になり、**地域の安全・安心**にも繋がっています。

【笠神地区の自主防災組織の活動状況】

・笠神自治会の防災委員が中心になって、大雨や地震が発生した際に見回りをして確認を行っています。今後の災害に備え、防災委員を主にして、防災に関する検討をしたいと思っています。

【避難行動要支援者名簿の活用状況】

・避難行動要支援者名簿は名簿上の確認に留まっています。

【笠神地区での協力体制や連携状況】

(1) 町内会長、町内会役員、班長、民生委員などの連携状況

・役員会は月に1回、班長会議は年4回行っていますので、会長から班長までの連携は出来ています。
しかしながら、民生委員は役員に位置付けしておらず、役員会にも参加していません。

(2) 若い世代への働きかけの工夫や参加状況等

・若い世代へ働き掛けはしているものの、「仕事が忙しい。」との理由で断れているが、夏祭りでは市民スポーツ大会のソフトボールに出場した方々や、有志で多数の若いお父さんやお母さんが積極的に協力してくれ、多いに賑わった。声掛けをすれば、単発のイベントであれば手伝ってくれるのだと思った。負担を掛けない程度で地域に関わって欲しいと思っている。

お父さん、お母さん達も笠神夏まつりをお手伝い！！

笠神地区　トピックス

「笠の会」は、笠神地区に住む高齢者が健康で長生きするための身近なテーマをみんなで一緒に考えながら学んだり、ゲームや歌ったりして、心にやさしい健康維持の場として、笠神会館を会場に約30年間続いています。
もちろん参加される方は楽しみにされていますが、運営する側も毎月開催するので多々苦労はありますが、参加者の笑顔と笑い声に励まされて、「さぁ頑張ろう。」という気持ちになり、自分にとっても活力にもなっています。

笠神地区には笠神会館がありますが、笠神西区に住む高齢の方にとっては若干遠いです。しかし、笠神分館が自分の住まいの近くにあることで、催しに参加しやすい環境となっています。
このような背景から、東部地域包括支援センターと協力して笠神分館で開催する仁和多利カフェを始めました。年4～5回の開催ですが、たわいのない話しやおしゃべりが気軽に出来き、住民にとって楽しみの場となっています。

笠の会の様子

仁和多利カフェの様子